平成27年度 第1回石狩市都市計画審議会

会議日時：平成27年6月30日（火） 13時00分～

会議場所：石狩市庁舎5階 第1委員会室

出席者：椎野会長、三津橋委員、景井委員、岡本委員、阿部委員、花田委員、野田委員、
鈴木委員

事務局長：南建設水道部長

事務局：清水建設指導課都市計画担当課長、安彦主査、植木主査

傍聴者：3名

<南部長>

定刻となりましたのでこれから始めたいと思います。委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、ご出席をいただき、大変ありがとうございます。

開会に先立ちまして、岡本委員より、午前中の講義の関係で、時刻を若干過ぎるとの連絡を受けておりますので、あらかじめ御了承願いたいと存じます。

それでは、白井副市長より、椎野会長へ諮問書をお渡しいたします。

<白井副市長>

札幌圏都市計画の変更について諮問、下記案件について都市計画法第19条第1項及び同法第77条の2第1項の規定に基づき諮問します。諮問案件、(市決定)札幌圏都市計画道路の変更(花川通)、よろしく願いいたします。

<南部長>

ここで白井副市長よりご挨拶申し上げます。

<白井副市長>

皆さん大変ご苦勞様でございます。田岡市長が午前中からの上京ということでありますので、代わって私より、ただいま諮問させていただきました。本日、大変お忙しいところ、ご出席を賜りました。この度は新たに任命されました3名の委員をお迎えしての初の審議会ということになります。それぞれの新しい委員の皆様におかれましては、どうぞよろしくお願い申し上げます。ただいま、椎野会長に「札幌圏都市計画道路の変更」について諮問をさせていただきました。

この案件につきましては、昨年11月の前々回の審議会において事前説明をさせていただき、また前回の審議会におきましては、当該路線を整備路線とする、「都市マスタープラン」の部分見直しについてお諮りし、妥当であるとの答申をいただいているところでございます。

本案件に関して、国、道の関係機関との協議がほぼ整い、都市計画法に基づく縦覧が終了しましたことから、本日の審議会へお諮りすることとなったものでございます。

本日の案件であります「札幌圏都市計画道路の変更」は、花川通に関する都市計画を変更し、新たに道路の区域を決定するものでありますが、委員の皆様におかれましては、これまでのご議論も踏まえる中で、ご審議を賜りたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

<南部長>

委員の皆様には大変恐縮に存じますが、副市長はこの後、公務が入ってございますので、これで退席させていただきます。

<白井副市長>

どうぞよろしくお願ひいたします。

<南部長>

引き続き、事務局より連絡申し上げます。5月に行われました石狩市議会議員選挙及び6月の北海道の人事異動に伴いまして、市議会議員でありました堀江委員と伊関委員に代わりまして、新たに阿部委員と花田委員、札幌建設管理部当別出張所長でありました汐川委員に代わりまして、野田委員が新たに任命されておりますことを、まずもって御報告申し上げます。3名の方々の任命書につきましては、おそれいりますが、机の上になら上げておりますので、それぞれお受け取り願ひたいと存じます。

本日は、新たに3名の委員の方が参加しておりますことから、改めまして委員の皆様方を順次、私の方から紹介さしあげたいと存じます。

(各委員の紹介)

ここから、本審議会事務局を紹介します。

(事務局員の紹介)

本日の出欠状況について御報告させていただきます。田中委員、井出委員から欠席の申し出がございました。この後、岡本委員がお見えになりますので、8名出席ということになりまして、石狩市都市計画審議会条例第5条第1項に規定する委員の二分の一以上の出席となりますことから、本日の会議、成立していることを御報告申し上げます。

尚、前回の審議会の傍聴者、4名でございましたけれども、意見の提出は特になかったこともあわせて報告いたします。それでは会長、宜しくお願ひいたします。

<椎野会長>

それでは、「平成27年度第1回石狩市都市計画審議会」を開催いたします。本日の議題は、先ほど、諮問されました「札幌圏都市計画道路の変更」でございます。前回の審議会におきまして、今回の議題に関連した「石狩市都市マスタープランの部分見直し」について妥当である旨の答申をしております。また、その前の審議会で、本件に関して事前説明を受けておりますので、本日は、ご議論いただき、意見を取りまとめ、答申したいと考えております。議案を説明していただく前に、事務局から、前回の審議会で出されました「質問」「意見」に対する回答と、「花川通の延伸を考える会」からの「花川通延伸計画に関連する要望書」に対する市の回答についてご説明いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

<清水課長>

私の方から、前回の審議会において、岡本委員から御質問がありました、通学区域の現状等について、御説明いたします。事前にお送りした書類の中に、カラーの図面がありますので、まずこちらをお開きください。この2枚の図面は、花川通の延伸に係る、小学校と中学校の通学区域図を中心に示した図面でございますが、色分けしたゾーンがそれぞれの学校の通学区域を示しており、この中に、信号機と手押しボタンの形をした、記号により示しました手押し信号が表示されております。次に正面のスライドで、花川通の延伸に伴います、交通量の変化に関する二つの小学校区と中学校区の通学の現状を説明したいと思います。このラインは花川通で、クロスの部分につきましては主要な交差点を示しています。このエリアは紅南小の通学エリアで、こちら

の道路は花川南、樽川地区の花川南3条通、花川南5条通、樽川6線、樽川7線でございます、このエリアは南線小の通学エリアを示しております。紅南小学校の児童数439人の内207人が、花川南地区から花川通を横断し、南線小学校の児童数932人の内551人が、樽川地区から幹線道路の道道石狩手稲線を横断しております。

こちらは中学校区の、花川北中と樽川中の区域を示しており、花川北中の生徒数296人の内99人が、花川南地区から花川通を横断し、樽川中の生徒数は498人の内191人が、花川南地区から道道石狩手稲線を横断して通学しております。このような状況におきまして、花川通を延伸しますと、花川南、樽川地区の道道石狩手稲線と交差する道路の交通量の減少が見込まれておりますことから、南線小と樽川中の通学時の交通安全性の向上が期待されるところでございます。一方、花川通につきましては、延伸後の交通量は、現在よりも5割程度増加し、現在の道道石狩手稲線とほぼ同数の、1万5千台強を想定しておりますことから、すでに信号機は270mおきに設置されており、また通学時には、PTAや町内会などの方々が交差点に立って安全指導されておりますので、一定程度の交通安全性は保たれると考えているところであります。開通後におきましては、市街地内の交通の流れは変わることも想定されますことから、その変化に注視し、関係機関と連携しながら、適切に対応していきたいと思います。

引き続きまして、事前送付させていただいた資料のうち、前回の審議会において報告することを確認しておりました「花川通延伸を考える会」からの市に対する「花川通延伸計画に関連する要望書」に対する回答について、説明いたします。要望書と市からの回答内容につきましては、事前送付しており、すでにご覧いただいておりますので、詳細の説明は省略させていただきますが、都市マスタープランの部分見直しの際に実施いたしましたパブリックコメントとほぼ同様の内容の回答をしているところでございます。以上が要望書への回答でございます。

その後、市や市議会に要望書や陳情書が提出されておりますので、これらの状況等についても、報告いたします。今月10日には、先ほどの「花川通延伸を考える会」を含む、6者で構成する「花川通延伸に反対する石狩市民協議会」から、要望書が市に提出され、また、同協議会からは、市議会に対しましても、2月20日と6月1日の2回に渡り、「石狩市市道花川通延伸に反対し、花川地区の住環境を守るための陳情書」が、先ほど報告いたしました要望書とほぼ同様の趣旨内容で提出されているところであります。このうち、2月20日提出分につきましては、市議会より建設文教常任委員会に付託され、委員会で審議されましたが継続審議となり、その後、市議会議員選挙のため、所管委員会の委員が改選されたところでございます。市議会に再度提出されました6月1日提出分につきましては、先週22日開催の建設文教常任委員会に付託、審議され、採決により不採択となり、先週26日開催の市議会本会議において、陳情書を不採択とする委員長報告の後、討論を経て、採決されましたが、陳情書の採決は賛成少数で不採択となったところでございます。

前回の審議会での確認事項の説明と追加報告は以上でございます。会長よろしく願いいたします。

<椎野会長>

只今、事務局から前回の審議会の質問と意見への回答並びに「花川通の延伸を考える会」からの要望書に対する市の回答についてご説明をいただきました。只今の説明に対しまして、あらためて、御質問等があれば、この場でお受けさせていただきたいと思っております。いかがでしょうか。

<椎野会長>

特にございませんか。特にご質問等なければ、次の議題に移らせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、ここからは、「札幌圏都市計画道路の変更」について事務局から説明をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

<清水課長>

それでは私の方から、花川通の延伸に係ります「札幌圏都市計画道路の変更」について、御説明いたします。正面のスライドをご覧くださいと存じます。最初に、これまでの経緯を簡単に振り返りたいと思います。

一昨年12月に沿道7町内会住民アンケート、昨年2月に沿道7町内会役員との意見交換の場でアンケートの結果等の報告、4月に延伸整備の検討に関するパブリックコメントの実施、5月にパブリックコメントの結果公表、8月に線形、騒音、振動、植生などの調査の実施、11月に全市民及び延伸部地権者を対象とした説明会の実施、同じ11月に都市計画審議会で、都市マスタープランの部分見直しと都市計画道路の変更に関する事前説明を、12月に都市マスタープランの部分見直しに関するパブリックコメントの実施、本年1月にパブリックコメントの結果公表、同じ1月に都市計画審議会で都市マスタープランの部分見直しを諮問し、答申をいただき、2月に都市マスタープランの部分見直しの決定、4月に都市計画道路の変更に関する北海道との事前協議、6月に都市計画道路の変更に関する都市計画の案の縦覧を実施したところであります。

これは都市計画の「計画書」でございしますが、都市計画道路のうち、3・2・401花川通を表の記載のとおりに変更しようとするものでございます。種別は「幹線街路」、名称、位置、区域、構造は記載のとおりでございしますが、構造の一番右側の交差構造につきましては後ほど御説明いたします。次に「計画図」をご覧ください。この赤い線が新たな都市計画道路の区域を示しており、中央の一点差線は道路の中心線を示し、実線の両側2本ずつの線のうち、中心線に近い両側2本については、定規図の[延伸部]の計画幅25mの幅を表しており、一番外側の2本については、すりつけの法面の幅を示しています。この図は「変更箇所図」ですが、ここが花川通の「起点」で、ここが現在の「終点」の場所ですが、このように「終点」を変更しようとするものでございます。

先ほどの交差構造の説明ですが、この青いひし形の4箇所は花川通とその他の幹線街路との交差点で一般的な平面で交差する交差点を、また紫のひし形が花川通と道央新道、いわゆる国道337号の所が将来、立体交差になることを規定しております。これは立体交差点の図面で、交差点を真上から見た状況を表しております。これを真横から見た断面図がこの図面で、曲線の橋の形の部分が国道の高架部分の4車線の所になります。この国道の橋の部分を取り払うことによりこの図面となり、高架下の平面交差部分が現れ、このように高架部をかぶせると最初の図面に戻るところでございします。この高架部は国道の計画であり、新港地域の他の交差点と同様、当面は平面交差点による整備になると思われまします。以上が変更案についての説明でした。

引き続きまして、今月1日から15日までの2週間実施しました案の縦覧結果と市の考え方について、御説明いたします。

事前に追加送付いたしました、「札幌圏都市計画道路(花川通)の変更に係る意見について」(出された意見)という書類と「縦覧・意見書提出手続きに関する検討結果」(要約版)の書類のうち、出された意見を要約して市の回答を掲載しております「要約版」により説明いたしたいと存じます。まず表紙を見ていただきたいと存じます。表紙にありますとおり、当初、法定による縦覧期間を6月1日から15日までの2週間と設定いたしましたが、本市の市民参加条例に基づき、市のホームページ上で同時募集をしておりました意見提出先のメールアドレスに誤りがありましたことから、訂正の案内を市のホームページのトップページで案内し、意見の提出期間を更に1週間延ばし、23日までの提出期間としたところ、延べ17名の方から意見の提出がございました。提出意見の内容はすでにご覧いただいていると思っておりますので、代表的な意見の概要を、正面のスライドで御紹介したいと思います。最初に、賛成の意見は10名で、その内容としましては、物流の効率化、通勤利便性の向上、交通安全対策に有効、通勤時の混雑緩和に有効、延伸部分の線形が良い、次に、反対の意見は7名で、その内容としましては、自然保護、歴史的価値、防風、防災などの観点から防風林を解除するべきではない、花川通沿線の住環境が悪化し、交通安全上

も問題、花川通と流通通を繋ぐ道路が必要なのか疑問、無益である、縦覧に対する市民への告知方法が不十分、一昨年12月の沿線住民に対するアンケート調査が不適切、住民への説明が不十分、税金は道路建設ではなく、定住対策等に使うべき、道路建設の財源が示されていない、昨年4月実施の花川通延伸に係るパブリックコメントに対する市の対応に不満などが寄せられました。配布しました資料のとおり、それぞれの意見に対し、市の考え方を示しております。市としましては、これらの考えも踏まえ、縦覧に供しました都市計画の見直し案を変更せず、本日の諮問案件として提出させていただいております。

私からは、以上でございます。会長よろしくお願いたします。

<椎野会長>

只今、事務局より御説明をいただきました。それでは、只今より審議に入りたいと思います。ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

<岡本委員>

教えていただきたいんですけども、先ほど縦覧の際に意見募集で、Eメール、電子メールというお話があったと思うんですが、17名皆さん電子メールでのご意見だったんでしょうか。

<清水課長>

FAXで提出されいてる方も3名程いらっしゃいまして、その他はEメールでございます。

<岡本委員>

ということは、ホームページを見られる人からしか、意見が出されていないっていうかたちと理解してよろしいでしょうか。

<清水課長>

結果として、案の縦覧の原本をご覧になられた方につきましては、4名はいらっしゃいますけれども、ほとんどの方は、ホームページをご覧になっていただいて、意見を言っていたというふうに認識しているところでございます。

それで、只今のご質問に補足をさせていただきたいと存じます。まず、都市計画法に基づいて、義務として実施しなければいけないものについては、公告をして、2週間縦覧に供するというのが、絶対条、必要な部分でございます。私どもといたしましては、今、岡本委員からご質問ありましたように、様々な機会を通じて意見を言えるように、また、先程説明しましたように、市の市民参加条例がございます。その中で、この法定の部分についても、他の手続きと同様に、パブリックコメントというようなかたちの、類似した手続きをとったうえで、多くの市民からご意見をいただくような手続きをとっているところでございまして、その中で、残念でございましたけれども、アドレスが間違ったことで、ご迷惑をかけたという状況がございました。そんな中で、縦横斜めからご意見いただいたということで、これらの意見について、お配りしているとお返答させていただいているところでございます。

<椎野会長>

よろしいでしょうか。他はいかがでしょうか。

<岡本委員>

はい。

<椎野会長>

特にございませんでしょうか。ご意見、ご質問等、特になしということであれば、本件に関しては、只今、ご説明、ご提案いただいた通りで、審議会としては支障なしということで答申させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

はい。

<椎野会長>

それでは、そのように答申させていただきたいと思います。部案につきましては、会長の私に一任させていただいてよろしいでしょうか。

<一同>

はい。

<椎野会長>

ありがとうございます。それでは、特に他に意見等なければ、本日の審議はこれをもって終了させていただきたいと思います。事務局から何か連絡があればお願いいたします。

<清水課長>

最初に、私の方から今後のスケジュールについて、ご連絡申し上げたいと存じます。本日をもって2年間の任期が係りますので、7月1日以降は、また新たな体制でということになりますので、改めて、再度委員になっていただける方につきましてはご案内申し上げたいと思います。只今、私どもでスケジュールを考えていますのは、7月の後半か、8月の上旬でございますけれども、只今、臨港地区という都市計画がございまして、港の部分において用途地域の上に、その臨港地区というゾーン指定をすることによって、港湾管理者が管理すべき施設を、ある程度特定した中で、管理するというようなしくみの中でのゾーニングの見直しを、今、石狩湾新港管理組合が原案作成中ございまして、都市計画決定の決定権者は北海道になりますけれども、この北海道の案件につきましては、最終的に私ども市町村の意見を言うというのが法定で決まっております。その前に、この都市計画審議会のご意見も伺いたいということで、その部分については今のスケジュールでいきますと、冬、12月とかそのぐらいになろうかと思いますが、その前に新しい委員の任命もございまして、7月末か8月上旬にですね、この臨港地区の見直しについての事前説明を、させていただければなというに思っているところでございますので、また改めてご案内申し上げたいと存じます。以上でございます。

<椎野会長>

それでは、本日は以上をもちまして閉会といたします。最後に本日の議事録でございますが、確認確定につきましては、私と三津橋委員で行いたいと思います。よろしいでしょうか。

<三津橋委員>

はい。

<椎野会長>

それでは、以上をもちまして審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

<南部長>

会長、ありがとうございました。先程、清水の方からもお話がありましたとおり、現在の都市計画審議会の、本審議会の任期が本日で満了となりますことから、25年7月1日から2年間に渡りまして、委員を長く務めていただきまして、大変ありがとうございました。最後でございますけれど、椎野会長から一言ご挨拶いただきたいと思います。

<椎野会長>

本日をもって任期が終了いたしますが、任期中ですね、皆さんにおかれましてはご意見、ご議論いただきまして、活発な審議会となったということについて、改めてこの場をお借りしまして、お礼を申し上げます。次期委員の方におかれましては、是非引き続き、活発なご審議、ご議論をこの場でよろしく願います。以上でございます。

平成27年 7月16日 議事録確認

椎野 亜紀夫

三津橋 昌博